

CLIPPEDIMAGE= JP408068022A
PAT-NO: JP408068022A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08068022 A
TITLE: PLATE FOR PREVENTING WEEDS FROM GROWING

PUBN-DATE: March 12, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
NAKAGAWA, YOSHINORI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY
NAKAGAWA YOSHINORI N/A

APPL-NO: JP06202345
APPL-DATE: August 26, 1994

INT-CL_(IPC): E01F015/02; E01F015/08 ; A01M021/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent weeds from growing thickly along a guard rail or the like, by laying a circular or long plate on the ground around poles of the guard rails or the ground between poles and fixing the plate with fixing pins.

CONSTITUTION: Two kinds of plates 20, 30 for preventing weeds f from growing thickly made up of a circular plate 22 or a long plate 31, are used respectively in order to prevent weeds from growing thickly around guard rails. In this case, an opening 21 to insert a pole, having almost the same inner diameter as the outer diameter of the pole is provided in the inside of the circular plate 31. The pole 11 is fitted to the opening to prevent the weeds from covering the ground of the area from growing thickly. Or a long plate 31 is made as long as the distance between the poles 11 to lay on the ground and securely prevent the weeds in the area covering the ground by the plate 31 from growing thickly.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

JP 8-68022
3-1996

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-68022

(43)公開日 平成8年(1996)3月12日

(51)Int.Cl.⁹

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

E 0 1 F 15/02

15/08

A 0 1 M 21/00

Z 2101-2B

E 0 1 F 15/ 00

1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平6-202345

(22)出願日

平成6年(1994)8月26日

(71)出願人 591267408

中川 慶典

福岡県糸島郡二丈町大字深江1603番地

(72)発明者 中川 慶典

福岡県糸島郡二丈町大字深江1603番地

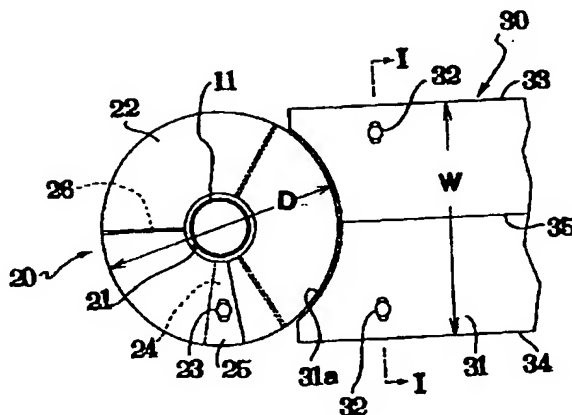
(74)代理人 弁理士 松尾 憲一郎

(54)【発明の名称】 雑草繁殖防止板

(57)【要約】

【目的】ガードレール等に沿って雑草が繁茂するのを確実に防止することができる雑草繁殖防止板である。

【構成】ガードレールのボールの周りの地面に環状プレートを敷いたり、ボール間の地面に長尺プレートを敷き、必要に応じて、これらのプレートを固定ピンで同地面に固定するようにしている。従って、同地面に雑草が生えるのを確実に防止することができる。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】ガードレール(10)のボール(11)の周りの地面に環状プレート(22)を敷き、必要に応じて、固定ピン(23)で同地面に固定することにより、同地面に雑草が生えるのを防止することができる雑草繁殖防止板。

【請求項2】環状プレート(22)を、外周縁から内周縁に至る半径方向切断線に沿って切断し、両切断端部(24)(25)同士を重合可能としたことを特徴とする請求項1記載の雑草繁殖防止板。

【請求項3】環状プレート(22)は、外周縁から内周縁に向けて漸次隆起する環状テーパ面を具備することを特徴とする請求項1記載の雑草繁殖防止板。

【請求項4】環状プレート(22)は、その底面に、外周縁から内周縁に向けて放射状に伸延する複数の水切り溝(26)を具備することを特徴とする請求項1記載の雑草繁殖防止板。

【請求項5】環状プレート(22)をゴム又はプラスチックのいずれかから成形したことを特徴とする請求項1記載の雑草繁殖防止板。

【請求項6】ガードレール(10)のボール(11)(11)間の地面に長尺プレート(31)を敷き、必要に応じて、固定ピン(32)で地面に固定し、同地面に雑草が生えるのを防止することができる雑草繁殖防止板。

【請求項7】長尺プレート(31)の両端に、ボール(11)(11)の外周面と対応する嵌合凹部(31a)(31a)を設けたことを特徴とする請求項6記載の雑草繁殖防止板。

【請求項8】長尺プレート(31)をゴム又はプラスチックのいずれかから成形したことを特徴とする請求項6記載の雑草繁殖防止板。

【請求項9】道路標識の周りの地面に環状プレート(22)を敷き、必要に応じて、固定ピン(23)で地面に固定することにより、同地面に雑草が生えるのを防止することができる雑草繁殖防止板。

【請求項10】電柱の周りの地面に環状プレート(22)を敷き、必要に応じて、固定ピン(23)で地面に固定することにより、同地面に雑草が生えるのを防止することができる雑草繁殖防止板。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ガードレール等に沿って雑草が繁殖するのを確実に防止することができる雑草繁殖防止板に関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、ガードレール10は、図7及び図8に示すように、路肩に沿って一定間隔を開けてボール11,11を立設し、同ポスト11,11の上部間に板状のレール本体10aを架設することによって構成される。

【0003】そして、このようなガードレール10の周辺には雑草13が繁殖するので、定期的に草刈りを行っており、その際、路肩の平坦部や傾斜部については、クレー

ンの先端に取付けた草刈り機等を駆動して草刈りを行っている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記した草刈り作業は、未だ、以下の解決すべき課題を有していた。

【0005】即ち、かかるガードレール10の周辺の草刈りは大変な重労働を伴い、特に、ガードレール10のレール本体10aの下部、及び、ボール11周りの草刈り作業は、作業が困難であり、かつ草刈り機の回転刃がボール11に衝突して折れ、飛散したりして、危険を伴うことになる。

【0006】本発明は、上記した課題を解決することができる、即ち、ガードレール下部やボール周りの雑草の繁殖を確実に防止することができ、上記したガードレール下やボール周りの危険な草刈り作業を無くすることができる雑草繁殖防止板を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、ガードレールのボールの周りの地面に環状プレートを敷き、必要に応じて、固定ピンで同地面に固定することにより、同地面に雑草が生えるのを防止することができる雑草繁殖防止板に係るものである。

【0008】本発明は、また、上記した構成において、①環状プレートを、外周縁から内周縁に至る半径方向切断線に沿って切断し、両切断端部同士を重合可能としたこと、②環状プレートに、外周縁から内周縁に向けて漸次隆起する環状テーパ面を設けたこと、③環状プレートの底面に、外周縁から内周縁に向けて放射状に伸延する複数の水切り溝を設けたこと、及び、④環状プレートをゴムやプラスチックによって成形したことに特徴を有する。

【0009】本発明は、さらに、ガードレールのボール間の地面に長尺プレートを敷き、必要に応じて、固定ピンで同地面に固定することにより、同地面に雑草が生えるのを防止することができる雑草繁殖防止板に係るものである。

【0010】本発明は、また、上記した構成において、①長尺プレートの両端に、ボールの外周面と対応する嵌合凹部を設けたこと、及び、②長尺プレートをゴムやプラスチックから成形したことに特徴を有する。

【0011】上記した雑草繁殖防止板を適用可能なガードレールは、板状のレールをポスト間に架設したもののみならず、ポスト間にワイヤを架設したガードワイヤを含む概念であり、また、ポストは、道路標識や電柱を含む概念である。

【0012】

【実施例】以下、添付図である図1～図6に示す実施例を参照して、本発明を具体的に説明する。

【0013】なお、本実施例において、ガードレール10の構造は、従来技術の説明におけるガードレール10と同

3

一構造なので、同一の符号で示す。

【0014】図1～図3に示すように、本実施例では、ガードレール10の周辺における雑草13の繁茂を無くすために、二種類の雑草繁殖防止板20,30を用いている。

【0015】即ち、ガードレール10を構成するボール11周りの雑草13の繁茂を防止するための雑草繁殖防止板20と、ガードレール10のレール本体10aの下部の雑草13の繁茂を防止するための雑草繁殖防止板30である。

【0016】まず、ボール11周りの雑草13の繁茂を防止するための雑草繁殖防止板20について説明すると、雑草繁殖防止板20は、実質的に、環状プレート22からなり、同環状プレート22は、その内部に、ボール11の外径と略同一の内径を有するボール嵌入開口21を設けている。

【0017】かかる環状プレート22をボール11に装着した後、必要に応じて、固定ピン23で地面に固定すると、同環状プレート22によってカバーされる部分における雑草は、太陽光を受けることができないので、光合成を行うことができず、枯死することになる。従って、図1及び図2に示すように、同ボール11周りの雑草13の繁茂を確実に防止することができる。

【0018】また、同環状プレート22は、図3から明らかなように、その外周縁から内周縁に至る半径方向切断線に沿って一箇所切断しており、両切断端部24,25同士を摺動自在に重合可能としている。

【0019】従って、両切断端部24,25を拡げて容易に環状プレート22をボール11に容易かつ確実に装着することができる。また、ボール11の直径は設置箇所によって異なる場合が多いが、環状プレート22は一箇所切断しているので、両切断部24,25の重合量を調節することによって、容易にボール11の直径の変化に対応することができる。

【0020】また、環状プレート22は、図4及び図5に示すように、外周縁から内周縁に向けて漸次隆起する環状テーパ面を設けている。かかる構成によって、環状プレート22の水はけを良くすることができる。環状テーパ面の勾配は、好ましくは、5°～10°とする。

【0021】さらに、本実施例では、図3及び図5に示すように、環状プレート22は、その底面に、外周縁から内周縁に向けて放射状に伸延する複数の水切り溝26を設けており、環状プレート22の水切りを良くしている。

【0022】環状プレート22は、装着容易性や、成形性や、耐食性等を考慮して、好ましくは、ゴムやプラスチックによって成形したものをを用いる。

【0023】次に、ガードレール10のレール本体10aの下部の雑草13の繁茂を防止するための雑草繁殖防止板30について説明すると、雑草繁殖防止板30は、図1～図3に示すように、実質的に、長尺プレート31からなり、同長尺プレート31は、ボール11,11間の間隔と略等しい長

4

さLを有するとともに、上記した環状プレート22の直径Dと略等しい幅Wを有している。

【0024】また、長尺プレート31は、その両端に、ボール11,11の外周面と対応する嵌合凹部31a,31aを形成している。

【0025】かかる長尺プレート31をボール11,11間の地面に敷いた後、必要に応じて、固定ピン32で地面に固定すると、同長尺プレート31によってカバーされる部分における雑草は、太陽光を受けることができないので、光合成を行うことができず、枯死することになる。従って、図1及び図2に示すように、レール本体10a下部の雑草13の繁茂を確実に防止することができる。

【0026】また、同長尺プレート31は、図3及び図6から明らかなように、その左右側縁部33,34から中央線35に向けて漸次隆起する山形断面のテーパ面を設けている。

【0027】かかる構成によって、長尺プレート31の水はけを良くすることができる。このテーパ面の勾配は、好ましくは、5°～10°とする。

【0028】長尺プレート31は、環状プレート22と同様に、設置容易性や、成形性や、耐食性等を考慮して、好ましくは、ゴムやプラスチックによって成形したものをを用いる。

【0029】

【発明の効果】本発明では、ガードレールのボールの周りの地面に環状プレートを敷いたり、ボール間の地面に長尺プレートを敷き、必要に応じて、これらのプレートを固定ピンで同地面に固定するようにしている。

【0030】従って、同地面に雑草が生えるのを確実に防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る雑草繁殖防止板の設置状態を示す正面図である。

【図2】同側面図である。

【図3】同要部拡大平面図である。

【図4】同拡大側面図である。

【図5】同一部拡大側面図である。

【図6】図3のI-I線による断面図である。

【図7】従来のガードレールの正面図である。

【図8】同側面図である。

【符号の説明】

10 ガードレール

10a レール本体

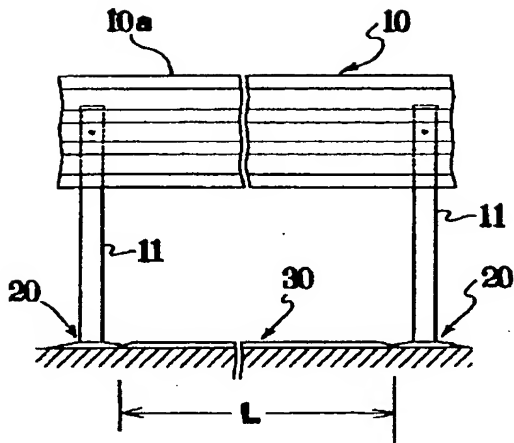
11 ボール

13 雑草

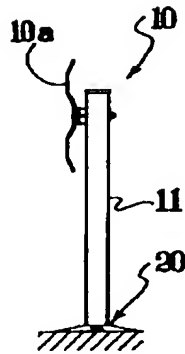
22 環状プレート

31 長尺プレート

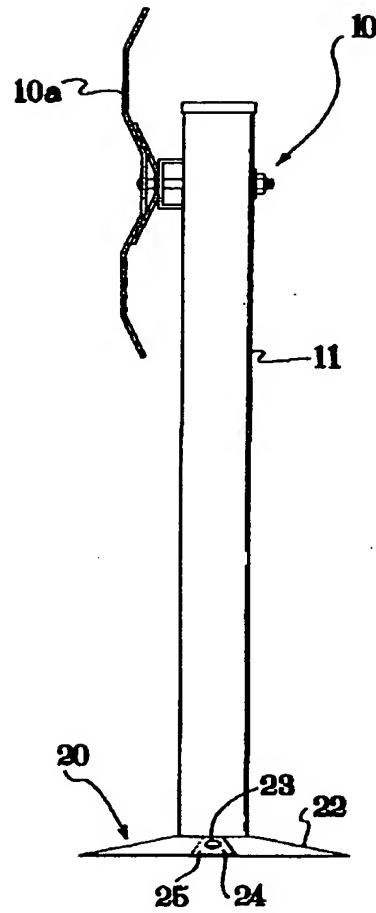
【図1】



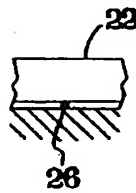
【図2】



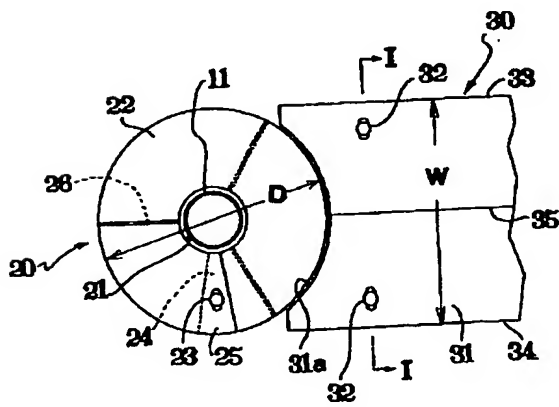
【図4】



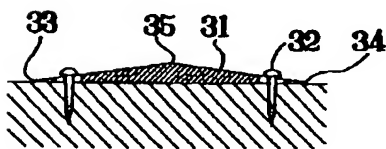
【図5】



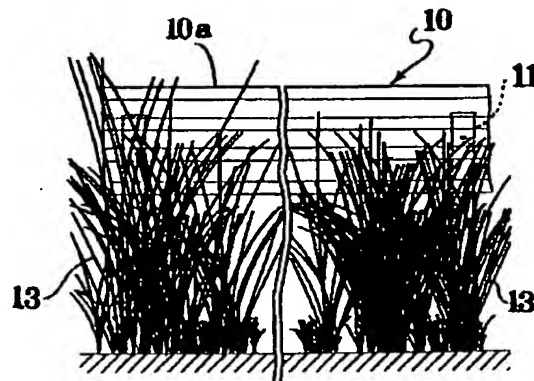
【図3】



【図6】



【図7】



【図8】

